

協定内容

面積	田	畑	草地	協定参加者		
19ha	19ha	—	—	83人		
交付金総額 391万円	個人配分 (50%)		196万円			
	共同活動 (50%) 195万円		役員報酬等	20万円	農道・水路管理	20万円
			多面的機能増進活動 (景観作物)		5万円	
			その他 (共同利用施設、事務消耗品等)		150万円	

沢沿いの水田

扇ノ沢集落は八甲田東方に位置し、沢沿いの急傾斜地に水田が開けています。

農業形態は水稲＋畜産の経営が多くなっていますが、近年では野菜や花きを導入し、特に菊を中心とした花き栽培が盛んとなっており、「乙女菊」の名称で産地化されています。

交付金有効活用に向けた検討

当初は、交付金をどのように活用するか十分に話し合われないうちに協定が締結された感がありましたが、2年目に入って、検討会で交付金をより有効に活用しようという気運が高まりました。

こうした中で、地域が抱える最大の課題が高齢化であることを踏まえ、高齢者が農業生産に積極的に活動できる環境を整備することを検討した結果、後々も有効に活用できる研修所を設置することになりました。



森に囲まれた研修施設

担い手育成の場にも活用

研修所は、森に囲まれた景観の美しい農村公園に隣接しており、多面的機能増進活動として、研修所の周囲に花壇をつくり、農村公園の清掃を行っています。

今後は、研修所を花き生産の担い手育成の技術研修にも活用していきます。

協定代表者の声



小沢 實さん (68歳)

研修所は、春のツツジや桜、秋の紅葉に加え花壇を設置した美しい環境に囲まれています。

今後は、高齢者のための農業生産活動支援や担い手育成の場として有効に活用できるような、交付金の使い方を考えていきます。